

二葉ファッションアカデミー 学校関係者評価報告書

2021年度（令和3年度）

2022年7月1日

学校法人二葉総合学園
二葉ファッションアカデミー

二葉ファッションアカデミー 学校関係者評価報告書について

本学は1937年（昭和12年）の創立以来、ファッションデザイナーの森英恵先生をはじめとする多くの卒業生をファッション業界へ輩出してまいりました。

常に時代の変化を見据え教育内容の改善に取り組んできた中、より一層の教育の質向上を目的に、2011（平成23）年4月に自己点検及び評価等実施委員会を規定し組織的な体制を構築。2013（平成25）年11月には学校関係者評価委員会を設立、以降毎年学校関係者評価を実施しております。

委員の皆様からの貴重なご意見を、教育及び学校運営に反映させることで改善活動に努めております。

また2015（平成27）年には、文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、試行事業としてアパレル企業、業界団体、大学教授等の有識者で構成された第三者評価を受審、適切な学校運営がなされていると認定されました。

しかしながら、若年人口の減少に加え、進路の多様化による入学者数減少に対する抜本的な改革については改善するに至りませんでした。今後、大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらず、法人として強く求められる安定性・継続性に応えていくため、止む無く理事会において募集停止の決議に至り、2023年3月をもって閉校することになりました。

ここに2021年（令和3年）度の学校運営に対する学校関係者評価を公表、在校生全員が卒業に至るまでの間、これまで以上に質の高い教育の実践に繋げ、責任をもって社会に送り出すべく教職員一同全力を尽くして参る所存でございます。

2021年7月1日
学校法人 二葉総合学園
二葉ファッションアカデミー
校長 小川 万紀子

学校関係者評価委員

委員長

【専修学校団体】

元（公社）東京都専修学校各種学校協会 常任理事

学校法人アリス国際学園 専門学校アリス国際学園横浜校校長

八尾 勝

委員

【関係業界】

八王子ファッション協議会 前会長

ヤマタカ捺染工場 代表

山口 智己

【卒業生・関係業界】

水野商店（ユニフォーム製造卸） 営業部長

水野 好彦

オブザーバー

【学校側参加者】

二葉ファッションアカデミー 校長

小川 万紀子

学校法人二葉総合学園事務局長

寺島 秀親

二葉ファッションアカデミー 教務課係長

粕谷 徳之

二葉ファッションアカデミー 教務課

葭井 摩美

2022年 第1回学校関係者評価委員会

6月22日（水）

二葉ファッションアカデミー（オンライン会議）

11時00分～12時00分

次回委員会開催月日 2022年10月7日（金）来校での実施

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

基準 2 学校運営

基準 3 教育活動

基準 4 教育成果

基準 5 学生支援

基準 6 教育環境

基準 7 学生の募集と受け入れ

基準 8 財務

基準 9 法令等の遵守

基準 10 社会貢献

基準毎の評価

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

教育理念・目的・育成人材像は明確に定められ、学校関係者だけではなく学外にも公表されている。これまで職業実践専門課程の認定や試行事業としての第三者評価受審を通して、選ばれる学校を目指し質の高い職業教育を実践してきたが、学生数の減少という抜本的な改革については改善するに至らなかった。今後、大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらず、法人として強く求められる安定性・継続性に応えていくため、止む無く理事会において募集停止の決議に至り、2023年3月をもって閉校することとなった。

コロナ禍において、東京コレクションによるショー形式の発表を2020年度に中止として以降実施していない。「ハハ」は二葉ファッションマルシェの企画・販売にシフトし、学生への実学を強化した。

基準 2 学校運営

FUTABA 中期計画として新たに3ヵ年計画を学園で策定した。2020年度の単年度計画として、1. 職業英語の学習を全職員参加（授業、OC）で実施する、2. 学園全体で1年を通し「うがい」「手洗い」の習慣化を取り入れる、3. それぞれの学校行事を3校一元化を前提に捉え計画・実行する、の3点が明示され、これに沿った学校運営を展開した。

2021年度はコロナ禍にありながらも、正常化に近づきつつある。これまで困難であった校外学習や校外研修も再開し、作品展はリアルとバーチャルを並行して実施した。高等課程の修学旅行も3年生・2年生の7名で実施。企業連携授業も2社と行い店頭での実習も行った。また、新型コロナウイルス感染症の罹患者や濃厚接触疑い等が発生した際には、休校を避ける為オンライン授業を積極的に取り入れ、授業に支障が起きないように努めた。

基準 3 教育活動

職種ごとのスキルの多様性と高い資質が求められているなか、特にデジタル知識は必須である。コロナ禍において校内学生用 Wi-Fi 環境を整えたことで、デジタル教育が進む結果となった。

各種検定試験資格取得については、一部試験の日程変更で受験できなくなった学生もいた。各種検定試験合格率は昨年同様バラつきが出る結果となった。就職活動では採用スケジュールが大きく変わり従来通りの対応では困難であったが、就職支援室と教務課の連携で、希望者全員の内定を頂けた。

基準 4 教育成果

高等課程の進路決定率は100%、専門課程の就職率は100%となった。専門課程では制作系（縫製）希望者が多かったが、全員希望職種に就いた。

退学率は高等課程が0%の反面、専門課程は28.3%と高くなってしまった。学習習慣が充分身につかないままで卒業年度を迎え、課題への成果が見られない事が主な原因となる。最終年度に向け、従来にも増し個々の学生へ寄り添い、卒業に向け取り組みでいきたい。

基準5 学生支援

専門課程、高等課程ともに定期的キャリアガイダンスを行うことで進路決定及び就職に繋げている。学生・生徒の健康管理については、保健室にベッド及び医薬品を常備。2021年度からはベッドを電動型に変更、定期的に医師が在駐することとした。

保護者会はコロナ禍によりオンラインで実施。学生・生徒のボランティア活動は分野の特性上（学習課題が多い）積極的とはいえないが、作品販売の売上金の一部を社会福祉協議会へ継続的に寄付を行っている。卒業生のネットワーク構築は課題である。

基準6 教育環境

UVプリンター等のデジタル機器を充実させ、業界ニーズに対応した教育環境を整えている。高等課程では助成金を活用して、生徒一人に1台ノートパソコンを貸与している。専門課程では企業等との連携実習を「(株)オンワード樫山」の協力により「回収衣料のアップサイクルによる雑貨企画・製作・販売実習」を行った。実習の中で、ファッション業界のSDGsを実体験として学ぶ機会を得られた。

また専門課程・高等課程共に「丸井吉祥寺店」の協力により、小売店での「ファッションイベントによる集客・接客実習」を行った。卒業・修了作品展、デザイナーによる公開作品評価会、学生と来場者のワークショップ等のイベント企画・実施と集客施策・接客対応を通じ、アフターコロナにおける商業施設の在り方を学んだ。

基準7 学生の募集と受け入れ

募集停止により未実施。

基準8 財務

財務諸表については学園ホームページにて公開。教育活動収入は前年比9百万円減の8.9億円となり、二葉ファッションアカデミー募集停止の影響を他課程でカバーできなかった。教育活動支出は前年比0.3億円増の8.3億円となった、高等教育学修支

援新制度度補助金の会計処理が0.45億円含まれている事を考慮すると、実質7.85億円となった。

各種イベントや学生募集ガイダンスも徐々に従前に戻りつつあるとはいえ、依然コロナ禍の影響がある為、目標とする8.0億円にはもう一段の見直しと共に定員充足は並行して注力したい。これらにより、事業活動収支差額比率は6.7%と前年より改善され、平均10.7%を下回った。

人件費比率は43.1%と1.2%上昇し、平均の42.3%を上回った。教員資格確保の為に人員増・同一労働同一賃金に対応する為の手当支給による人件費増となっており、コンプライアンスを優先した結果となっている。

総負債比率は、13.9%と着実に改善され平均18.0%を下回った。

財務状況は、借入金総額2.88億円、流動資産18億円となり、教育活動支出2年以上の流動資産を積み重ねることができた。流動資産の内訳は、現預金9.4億円、債権等の安全性金融商品等4.1億円、株式等の収益性商品4.4億円、その他未収金0.074億円となっている。

基準9 法令等の遵守

学校運営において法務に関する事項、行政指導、所轄庁からの通知及び専修学校設置基準を遵守している。教育基本法・学校教育法の把握とともに学校保健法や消防法等についても改定ごとに迅速な対応を心がけている。

基準10 社会貢献

2021年度もコロナ禍により、地域団体等との接触を伴う活動を活発には行えなかった。学生オリジナルショップ「二葉ファッションマルシェ」の売上金の一部を社会福祉協議会へ寄付を行う活動は継続した。

以上

評価委員から拝聴した主な質疑応答

(質疑)

- ・閉校に向けた最終年度を経験することは初めてだと思うが、苦勞した点や工夫した点はあるか？(八尾委員)

(応答)

- ・最終年度の為コンパクトな学生数でのクラス編成となり、生徒が孤立しないようカリキュラムに工夫を凝らし、高等課程・専門課程で同じ教室内で同じ科目、異なる課題を受講するようにしている。

(質疑)

- ・閉校に伴い、就職率には影響関係はあるのか？学生・生徒が不利益を被ってはいないか？(水野委員)

(応答)

- ・例年通り求人票は届いている。昨年度の就職状況を鑑みても、特に不利になっていくようなことはない。

(質疑)

- ・学校が取り組んでいた「ハハ」ブランドは完全に終了なのか？(山口委員)

(応答)

- ・洋服に絞ったコレクション活動は行っていないが、1号館エントランスで食を含むライフスタイル提案型のショップ運営の中で、商品開発・販売活動していく。

(質疑)

- ・OBへのケアは続けられるのか？(山口委員)

(応答)

- ・学園は引き続き存在するので、証明書などの発行は問題なく継続できる。学校は閉校になっても、教職員は在職するのでサポートは継続していく。

(質疑)

- ・ファッション校の閉校に伴い栄養校、製菓校または法人の運営に影響はあるか？(八尾委員)

(応答)

- ・現状、授業時間の一部をファッションの教員が担当し、空きとなっている教室を栄養校の授業で使用している。これまでも三校で合同に様々なことに対応してきており、廃校に伴い他校の運営に特別悪い影響があるとは思わない。

(質疑)

- ・他の二校の募集状況も右肩下がりなのか？(水野委員)

(応答)

- ・栄養校において栄養士科、管理栄養士科については定員割れしていない。栄養校調理師科は定員充足率が十分とは言えない。製菓校に関しては厳しい状況である。

以上、基準1から基準10の項目について適切に学校運営が行われており、2021年度（令和3年度）の学校関係者評価とする。



学校法人二葉総合学園
二葉ファッションアカデミー
〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-3-2

学校関係者評価報告書についてのお問い合わせ先
学校関係者評価委員会 TEL 0422-44-3161